

書あり 師あり 友ありて



## 市制施行 100 周年を迎えるにあたって

学校長 平田 高之





2019年、明石市は1919年（大正8年）11月1日に誕生してから100年を迎えます。この100年の間に、戦争や地震、台風などいろいろな苦勞がありました。市民の皆さんや行政・学校等、多くの人々の努力により乗り越えてきました。また、たくさんの素晴らしい出来事もあり、人口30万人もまもなく達成されそうです！



本年度は市政施行100年ということで、先日は、本校の保護者も参加された「NHKのど自慢」が行われ、この11月23、24日にはB1 グランプリ明石大会が、本校区でもあります中崎小学校・中崎遊園地も会場となり行われます。本校生徒も、今のところ2・3年生5名（私が知っている限り）がボランティアとして参加してくれます。まだ応募可能ですので是非声かけをお願いします！

ラグビーワールドカップのキャッチコピーに「4年に一度ではなく一生に一度」というものがありました。それこそ市制100年は、生徒にとっては、まさしく一生に一度の出来事ですので、その意義を考え、ふるさとを愛する心を育む機会にしたいと考えています。

< 明石市年表 >

1919 (T8)	明石市誕生	
1921 (T10)	明石市章が決まる	
1929 (S4)	明石市歌ができる	
1931 (S6)	水道での給水開始	
1933 (S8)	神明国道(今の国道2号) 開通	
1942 (S17)	林崎村を合併	
1945 (S20)	明石に計6回の空襲	 空襲の様子
1949 (S24)	明石駅前大火	 合併による明石市の区域拡大
1951 (S26)	大久保、魚住、二見を合併	
1956 (S31)	市内初の信号機を明石駅前に設置	
1960 (S35)	天文科学館開館	
1961 (S36)	魚の棚アーケード完成	
1968 (S43)	アメリカ合衆国・バレホ市と姉妹都市に	
1969 (S44)	市の花「キク」市の木「キンモクセイ」に	
1972 (S47)	新幹線西明石駅開業	
1980 (S55)	明姫幹線開通	 明姫幹線開通
1981 (S56)	中国・無錫市と友好都市に	
1995 (H7)	兵庫県南部地震発生	
1998 (H10)	明石海峡まつり開催	
2001 (H13)	大蔵海岸で2つの大きな事故	
2012 (H24)	天文科学館プラネタリウム長寿日本一に	
2013 (H25)	さかなクン、明石たこ大使に任命	
2019 (R 1)	明石市が100歳に	 明石海峡まつり開催

# 11月1日(市制記念日) 明石市 市制100周年献立



市制記念日の11月1日は、給食で「市制100周年お祝い献立」が出されます。みんなで味わい市制100周年をお祝いしますので、メニューと明石鯛についてご紹介します。

赤飯 ごま塩 鯛の塩焼き キャベツのごま和え さつま汁 紅白大福 牛乳

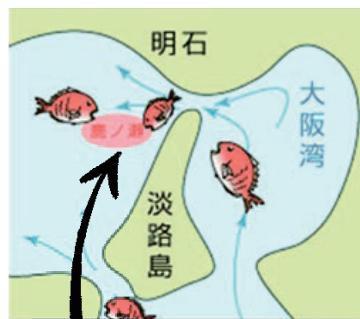
赤飯の赤い色には邪気をはらい魔除けになるという意味があり、そこから赤飯は祝い事に欠かせない食べ物となったようです。また、鯛も祝い事に欠かせない縁起の良い魚です。明石の天然真鯛の切り身を塩焼きにして提供されます。さらに、紅白大福がデザートにつきます。紅白は祝いの色とされ、紅はめでたさと慶びを、白は神聖を表すそうです。

## 鯛は縁起物

鯛は「めでたい」魚として、日本の正月や祝い事に欠かせない縁起の良い魚です。鯛を丸ごと炭火で焼き、将軍に献上したのが姿焼きのはじまりと伝えられています。正月の魚の棚はおせち料理に添える明石の焼鯛を求める人で賑わっていますね。



## 明石鯛のお話



明石鯛は明石海峡の速い潮の流れと、それによってできた「鹿の瀬」などの起伏に富んだ複雑な海底地形の中で育ちます。その中で他の魚に狙われながら生き残るには、より速く泳ぐ力が必要で、明石鯛の骨には泳ぎ過ぎからくる骨折跡とみられるコブを見かけることがあるそうです。

**鹿の瀬**  
明石海峡の激しい潮流に吹き上げられた海底の砂が蓄積してできた浅瀬

